



中田ささら舞い



八槻市



母衣旗まつり

変わらない情熱で、

代々受け継がれてきた伝統が、

人々の喜びと季節の訪れを伝えてくれる。

石川町では、春夏秋冬それぞれに、伝統の祭りが繰り広げられています。

春の訪れを告げるのは、四月に光国寺で行われる式部祭り。数百年の歴史を持つ行事で、安産と子どもの健やかな成長が祈願されます。夏になると、町で最も古い神社のひとつである塩釜神社で祭礼が行われ、子どもたちによる元氣いっばいの相撲大会が奉納されます。数ある秋祭りの代表は、石都々古和氣神社祭礼。神輿や行列が繰り出す町最大の祭りです。また年の瀬も近い十二月下旬には近津神社の八槻市がたち、名物のユズやショウガを買い求める人で賑わいます。

伝統芸能では、中田や湯郷渡に古くから伝わるささらが有名です。毎年九月に見られ



るこの昔ながらの獅子舞は、いずれも町の無形民俗文化財として大切に受け継がれています。また、およそ二百年前から伝わる天禰念仏踊りも、地域の青年団によって今日へと継承されています。